

子どもたちの熱演の数々に感動！ こども芸術祭



▲波野中学校による神楽



▲赤水保育園による太鼓演奏

第2回阿蘇市こども芸術祭が、11月17日、阿蘇体育館で開催され、保育園児から中学生まで15団体が、伝統芸能や演奏などを披露し、年に一度の市内全体の発表会を元気にそして華やかに展開しました。会場からは、小さな子どもたちがお年寄りから習った伝統芸能を懸命に演じる姿にたくさんの拍手が贈られました。また昨年同様、子ども会の皆さんが昼食のバザーを行って、子どもたちの思い出の一日を応援しました。



▲尾ヶ石東部小学校による虎舞



「ツーリズム交流」提携の別府市と熱く談義

別府八湯・竹瓦倶楽部など、別府市の地域づくり団体など12人が阿蘇市を訪れ、一の宮町地域づくり団体協議会(24団体で構成)及び阿蘇市地域づくり団体の皆さんと交流しました。別府市とは、地域通貨の共同利用をきっかけに、昨年7月に「ツーリズム交流宣言」を交わし、1.「両市の歴史・文化・自然・産業を尊重した多面的なツーリズム交流」2.「観光資源を相乗的に有効活用した国際競争力を有する観光地づくりの推進」3.「民間レベルでのまちづくり交流」を積極的に行いながらまちづくりの人材育成を目指し現在親交を

深めています。阿蘇市で開催した交流会は今回で2回目。逆に別府市へ出向いての交流も何度も行われています。

日本一の泉源数・湧水量を誇る実質世界一の温泉である別府市と世界最大級のカルデラを有する阿蘇市、「環境を取り入れた観光が今後は伸びる」と、この日も夜遅くまで談義が行われました。

女性の元気で魅力あるまちに!19年度セミナー開催

阿蘇市女性団体連絡協議会(神保京子会長)主催のセミナーが、10月29日、阿蘇市一の宮就業改善センターで開かれました。このセミナーは、男女共同参画社会の実現と、7団体からなる本協議会各組織の連携を深めることを目的に毎年実施されています。

3回目となる今年度は、奄美大島で活躍中の藤あけみさんのコンサートを行い、郷土を愛する心、伝統文化の大切さ、その中で自分らしく生きることの大切さを学びました。最後は全員で踊り、200人を超える参加者の熱気で盛り上がりしました。神保会長は「これからも皆さんの元気で女性ならではの取り組みでまちをよくしていきましょう!」と呼びかけ今後につなげました。

